



## 残念!新年会中止にしました

このページ新年会の様子を写真中心に賑やかに飾る予定でした。しかし残念なことに、新年会はオミクロン株なる新しいコロナ菌の攻撃に遭遇し中止の憂目を見ました。1月12日に臨時役員会を開催して中止を決めました。楽しみにされていた皆様にはごめんなさいの一言です。役員一同、今年こそと意気込んでいたのですが。確約は出来ませんがコロナの動向を見ながら新たなイベントを考えていきたいと思ひます 役員一同

## 「18歳から大人に」今年はこのことが変わります

硬い話ですがコロナ騒ぎとは別に日常生活で今年変わる事があります。政府広報から抜粋してみます。成人年齢が、4月1日から、現行の20歳から18歳に引き下げられます。私たち高齢者の暮らしに影響は無いと思ひますが孫の世代に影響が有ります。最近投票権年齢を18歳と定めるなど、20歳前の若者にも国政の重要な判断に参加してもらうための政策が進められてきました。こうした中で18歳以上を大人として扱う議論がなされ、成年年齢が18歳に引き下げられることになりました。これにより2022年4月1日に18歳、19歳に達している人は4月1日に新成人となります。簡単に言えば今年新成人が3倍に成ると言う事です。世界的にも成年年齢を18歳とするのが主流の様です。成年になると、未成年のときと何が変わるのでしょうか?民法が定めている成年年齢は、「一人で契約をすることができる年齢」という意味と、「父母の親権に服さなくなる年齢」という意味があります。成年に達すると、親の同意を得なくても、自分の意思で様々な契約ができるようになるということです。例えば、携帯電話を契約する、一人暮らしの部屋を借りる、クレジットカードをつくる、高額な商品を購入したときにローンを組むといったとき、未成年の場合は親の同意が必要です。しかし、成年に達すると、親の同意がなくても、こうした契約が自分一人ですることができるようになります。また、親権に服さなくなるため、自分の住む場所、進学や就職などの進路なども自分の意思で決定できるようになります。つまり自由な行動が増える半面自己の責任が増します。何故か女性が結婚できる最低年齢は16歳から18歳に引き上げられ、結婚できるのは男女ともに18歳以上となります。一方、成年年齢が18歳になっても、飲酒や喫煙、競馬などの公営競技に関する年齢制限は、これまでと変わらず20歳です。健康面への影響や非行防止からでしょうか?成人式の時期や在り方に関しては、法律による決まりはありません。各自治体の判断で成人式は実施されています。多くの自治体が、1月の「成人の日」前後に開催し、その年度に20歳になる方が対象です。しかし成年年齢が18歳に引き下げられた後は、成人式の対象は18歳の方に変わるのか、変わった場合は高校3年生の1月という受験シーズンに実施していくのか、施行後初となる2022年度(2023年1月)の成人式は、18歳、19歳、20歳の3世代同時に実施するのかといった課題が発生します。さてどうなるでしょうか?我々の世代。中学卒業で、高校卒業で親元を離れて就職した人が沢山いました。年齢から見ると16から18歳です。貧しいながら自立した生活を送っていました。形式上は二十歳前ですから大人(成人)では有りませんが、親のすねをかじりながら学生運動に興じていた(不適切な表現かも知れませんが)同年輩の大学生と比較すると胸を張れる立派なお大人のような気がします。成人に到達の境、線引きは必要ですが形だけの成年では意味が無い気がします。成人式で暴れての新成人自己主張、何故か幼い気がするのは私だけでしょうか? 岩田記



## おみくじ

『おみくじ』についてです。初詣の時、引かれた方もいるかと思います。おみくじは、単なる占いでなく、おみくじを引いた人の今の行いがどんな結果になるかを教えてくれます。そのため良いことだけではなく『予想外の出費がある』ですとか、良くないことも書いてあります。でもそれは神様や仏様が、私たちに注意してくれているのです。ですから、おみくじに『金運が良くない』とあったらそれならムダ使いをやめようという思う気持ちが大切なんだそうです。おみくじには先程の『金運』の他に『恋愛』や『失くしもの』『旅行』『健康』そして『待ち人』といった項目がありますよネ。この『待ち人』とは異性関係だけでなく、今後の人生に影響を与えるような人、あるいは新しいお友達といったように、あらゆる人との出会い、のここのようです。そうすると、おみくじに『待ち人来(きた)らず』と書いてあると、“あ～、出会いがないのかな”と書いてしまいますよネ。その場合、深刻に受け止めずに、おみくじを引いたこの時点では、まだそういう人は現れないんだな、くらいの気持ちでいると良いそうです。『待ち人』は、あらゆるご縁のことだったのです。占いは神様や仏様のお告げなんです。迷いごととか、悩みごとがある時に引くと、アドバイスをもらう気持ちで引くのが良さそうです。同じおみくじでも、お寺と神社では書かれているものに違いがあるようですが今回は省略します。さて『吉や凶について』です。おみくじを引いた時、一番縁起が良いとされるのは『大吉』ですが、それ以降の順番は神社やお寺によって様々なようです。全国の神社を統括している神社本庁では、『一般的に「おみくじ」は、個人の運勢や吉と凶を占うために用いられていますが、種類もいろいろとあり、神社ごとに工夫もされています。その内容には、大吉・吉・中吉・小吉・末吉・凶といった判断や、金運や恋愛、失くし物、旅行、待ち人、健康といった生活全般にわたる記述を見ることが出来ます』としています。そんなところから『大吉』の次は『吉』で、その次が『中吉』。以下『小吉』『末吉』までが良く、逆に良くないのが『凶』『大凶』と解釈している所が多いそうです。ところが神社やお寺によって順番が違ってきます。『大吉』の次は『中吉』、それ以降に『小吉』、『吉』、『末吉』、『凶』、『大凶』といったように、『中吉』を2番目、『小吉』を3番目、『吉』を4番目としている所もあるそうです。そうすると、おみくじで『吉』が付くものが出た時、さて、これは何番目？と気になるかと思えます。その場合は、その神社やお寺の方に、こちらではこの『吉』は何番目になりますか？と尋ねられると良いそうです。では吉、大吉などが出る確率はどうか？日本のおみくじのルーツとされる比叡山延暦寺のお坊様、良源(りょうげん)さんのお告げ『元三大師百籤(がんざんだいし・ひやくせん)』が関係しているそうです。これには『吉』や『凶』の割合が決められていて、おみくじ100本中、『大吉』が16本、『吉』が35本、『大吉・吉以外の吉(中吉や末吉など)』が19本、『凶』が30本です。100本中30本ですから、確率は30%です。この30%という数字を「多い」と感じるか「そうでもない」と感じるかは人によって違うかと思えます。すべてのお寺が『凶』の確率を同じようにしているわけではなく、おみくじを引いた時、『凶』が出てガッカリしないように、『凶』の出る確率を低くしている所もあるそうです。真偽は分かりませんが浅草の「浅草寺のおみくじは凶が多い」と噂されていると聞きました。信仰に関係なく遊び心でたまには「おみくじ」も良いかも知れません 岩田記

### 今後の主な行事・会合予定及び編集後記

例年でしたら、新年会の余韻に浸っている頃です。今年も新年から行事が中止、がまん、がまん。の年明けです。何もしないで手をこまねいてばかりでは、いられないとは思いますが暫くお待ちください。グランドゴルフの皆さんは何か活動はしていますが、その他は寂しい現状です。コロナのワクチン3回目の接種が始まりました。予約しましたか？自分で出来る予防を実施してください。これからの行事予定は動きに注目しながら決めていきます。 尚 役員会は2月24日(火)9時半工芸室で開催予定です 岩田